

## 「運営サポーターアンケートの評価」結果の概要と総括

2024年3月19日

公益社団法人日本介護福祉士会

会長 及川 ゆりこ

令和3年度から実施している運営サポーターアンケートについて、より会員の皆さまの声をお聞かせいただくために、運営サポーター登録者がアンケートに回答しようと思った理由や、関心を持っているテーマなどを把握するとともに、運営サポーターを増やすためのPR方法やアンケートの改善の方策の示唆を得ることを目的に、運営サポーターを対象とする調査を実施しましたのでご報告いたします。

### 【主な結果の概要】

#### 1. 自分の意見を反映してほしい、介護を取り巻く情勢を知ることができる等の理由から参画している

運営サポーターに登録後、毎回もしくは複数回回答している方が、合わせて8割以上であった。

回答しようと思った理由では、「自分の意見を反映してもらいたいと感じたから」が半数を超えたほか、「介護を取り巻く世の中の情勢を知ることができるから」が4割であった。

#### 2. 回答したアンケートの集計結果・総括に目を通している方が多い

回答したアンケートの集計結果や総括を見たことがある方は8割程度おり、うち8割程度が参考になったと感じている。また、アンケートの実施・結果の公表が必要なことだと思っている方が9割以上、アンケートを知り合いの会員に勧めたいと思う方は6割であった。

なお、アンケートの集計結果や総括を見たことがない方については、「どのように確認するか知らない」、「まとめられていることを知らない」との理由が4割程度であった。

#### 3. 1回のアンケートの回答は10分以内で終わることが望ましい

1回のアンケートに対し、8割以上が10分以内に回答している。また、回答に要する時間（理想）については、実際に回答に要している時間よりも短い時間を理想とする回答が多かった。

#### 4. 運営サポーターアンケートの取組をより良いものとするための方策に通じる多様な意見が寄せられた

本取組を活性化させるためには運営サポーターを増やしていくことが欠かせず、その方法として、「研修会・イベントでのPR」が6割、「会員からの声かけ」が4割であった。

また、名称の見直しやアンケート以外の取組に関する意見のほか、各アンケートのテーマの設定や意図の示し方、さまざまな分野で働く介護福祉士に目を向けた構成やテーマとすること、結果の活用や発信等、自由記述回答でも本取組に対する多様な意見が寄せられた。

### 【総括】

- ・ 回答結果から、運営サポーターそれぞれの参画に対する意識は高く、取組自体に対する評価も概ね良好であることが読み取れ、本取組の大切さを確認した。
- ・ 職能団体としての国等への意見発出や、会の運営の活性化につなげるためにも、日本介護福祉士会として、また都道府県介護福祉士会にも協力いただきながら、色々な媒体や機会を通じて本取組の周知・広報を行うこと、運営サポーターの数を増やすことが必要である。
- ・ 運営サポーターの思いや関心を踏まえ、また、より良い取組としていけるよう、アンケートの回答に要する時間や負担の軽減をはじめ、テーマの選定やアンケートの構成の在り方、結果や活用についての発信等、改善に向け一つずつ丁寧に向き合っていくことが望まれる。